

日商簿記試験 2 級 (125 回) 合格への戦略

最近の合格率

2 級

回	受験者数	実受験者数	合格者数	合格率
123(H21.11.15)	97,389名	74,371名	28,585名	38.4%
122 (H21.6.14)	78,645名	57,616名	14,700名	25.5%
121 (H21.2.22)	81,616名	60,475名	26,053名	43.1%
120(H20.11.16)	83,573名	61,662名	18,252名	29.6%
119(H20.6.8)	68,962名	50,573名	15,830名	31.3%
118(H20.2.24)	77,801名	57,812名	16,973名	29.4%
117(H19.11.18)	80,432名	60,877名	12,608名	20.7%
116(H19.6.10)	62,024名	44,242名	12,911名	29.2%
115(H19.2.25)	71,024名	52,104名	22,168名	42.5%
114(H18.11.19)	77,652名	59,212名	18,829名	31.8%
113(H18.6.11)	61,686名	45,293名	13,785名	30.4%
112(H18.2.26)	66,456名	48,273名	11,660名	24.2%
111(H17.11.20)	74,425名	55,876名	18,539名	33.2%
110(H17.6.12)	54,214名	39,859名	16,264名	40.8%
109(H17.2.27)	59,341名	42,928名	11,797名	27.5%
108(H16.11.21)	76,603名	59,904名	28,083名	46.9%
107(H16.6.13)	58,796名	43,540名	2,476名	5.7%
106(H16.2.22)	63,432名	49,051名	18,951名	38.6%

当スクールでは3ヶ月の就職支援講座を行っています。

このスクールで簿記初学者の方が日商簿記2級に1ヶ月で合格するケースが20~30%程度あります。(直近の3か月講座の場合は50~70%の方が合格されています)

直近の合格率を示します

■ 弥生カレッジCMCの合格率と全国平均値 ■

第123回 H21.11.15実施

	日商簿記3級	日商簿記2級
受験者	19名	21名
合格者	17名	16名
合格率	89.4%	76.2%
全国平均合格率	49.5%	38.4%

第122回 H21.06.14実施

	日商簿記3級	日商簿記2級	全経1級会計	全経1級工業
受験者	4名	10名	8名	6名
合格者	3名	6名	6名	5名
合格率	75%	60%	75%	83%
全国平均合格率	41.2%	25.5%		

たぶん受験専門校では長期計画をすすめると思います。弥生カレッジCMCでは下記の戦略で日商簿記2級試験に臨んでいただいています

- ①目的意識 実務に通用する為には商業簿記の知識が優先。但し、合格優先を目的とするのであれば工業簿記・原価計算・帳簿組織で60点×0.8=48点が効率的です。後は仕訳と総合問題で40点中22点(55%)で合格できます。
特に2級の工業簿記・原価計算はくわず嫌いで得点計画をたてている方が多いのが現状です。これは勿体ない話だと思います。
- ②工業簿記
原価計算 当スクールでは、工業簿記・原価計算は2.5時間講義×11日の28時間程度で対応しています。受験専門校では42時間程度はとっていると思われま。でも時間の足りない部分を補う事はいくらでもできます。理解を深めるために教室を工場と見立てて説明をします。その後関連する過去問題を解いて頂きます。思ったよりも簡単であることがわかります。
特に標準原価計算・直接原価計算はグラフを恐れなければ(数学が苦手というのは全く関係ありません)間違いなく得点源になります。HP等で随時解法をUPしていきます。皆さん、ぜひ日商簿記2級合格を勝ち取って下さい

試験までの過ごし方

- ① 3, 2級併願の方は、試験当日に9:00~11:00、14:00~16:00というハードスケジュールで試験に臨むことになります。2級の試験時間の後半は頭はかなり疲れています。あえて疲れている時に過去問にチャレンジしてみてください。問題の解き方だけが模擬試験ではありません。その時の状況のイメージが大切です。
- ② 2級になると科目や考え方が一気に増えます。でも決して丸暗記しようとはしないで下さい。2W(When・Who)の意識でイメージする事が応用問題への対応力を養います。「いまはいつ?→決算整理前」「私は誰→社債を買った側」をイメージする事が大事です。
- ③ 覚えたことは必ず忘れます。これは誰でも同じです。我々講師でも、講座前には前回の講座の内容を確認します。6月13日の14:00の段階で70%の知識と応用力があれば合格します。
- ④ 過去問を繰り返し解いて下さい。
毎回正解はOK。
前回正解で今回×は要注意です。
毎回不正解もOKです。これは自分の弱点と認識すれば試験会場では後回しにできます。
- ⑤ 電卓は同じものを2種類
私はある試験の模擬試験の最中に電卓が壊れた経験をもっています。本番でこれが出ると恐ろしい結果になります。電卓・筆記用具・時計は2種類持って行きましょう。

⑥ 電卓のスピードよりも正確性を重視して下さい
試験会場で電卓を乱打している人を見かけますが、気にしないで下さい。「あんなに体力使ってもったいない」と思って下さい。
F1レーサでも初めての道路でアクセル全開するとカーブで事故を起こします。
試験会場ではじめて見る問題にスピード優先で考えると大事故（失点）につながります。慎重にバックミラー見ながら運転して下さい。

⑦ 2級の学習を優先に
次回の2級の第2問は伝票が予想されます。但し、帳簿問題が続く可能性もあります。どちらにしても第2問の学習すれば3級の第3問対策になります。
また2級の第3問の決算関連の問題を練習すれば、3級の第5問は軽く解けるようになります。
3級特有の論点は試験の2週間前に復習すれば充分です。

⑧ 解く順番を意識する
模擬試験などを受ける場合は、自分が解いた順番と結果を確認して下さい。

「簡単と思って簡単だった」これはベスト

「難しいと思って難しかった」これもOK（次回しにできます）

「難しいと思って簡単だった」これはダメ（次回しにすべきではない）

試験は当日の対応次第で簡単に10点くらいの増減はあります。
この事を強く意識して学習を進めて下さい。

第124回の合格率は低い事が予想されます。
次回は大量合格者の可能性が高いのです。
ぜひ頑張ってください。

3 級知識の重要論点

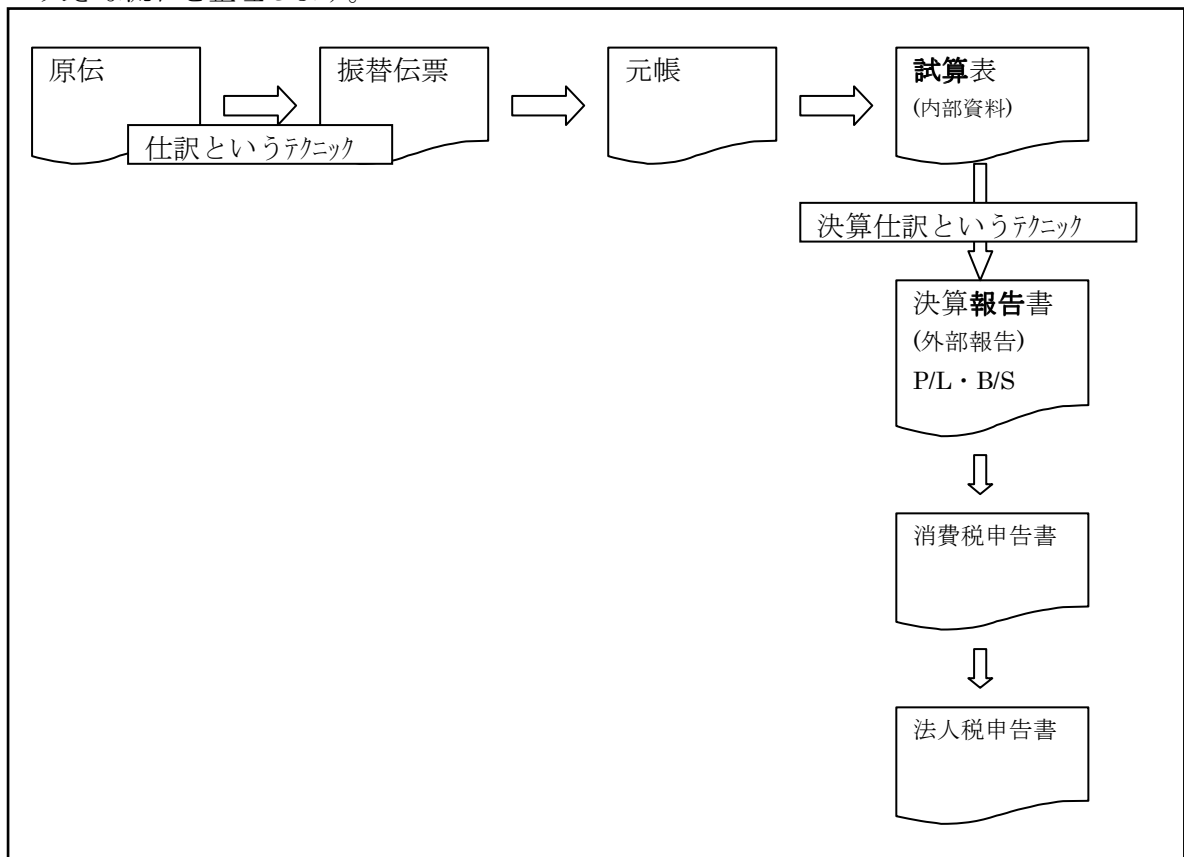
PL・BSの関係の理解

皆さんはこれから簿記2級の学習をします。

簿記・経理・会計色々な言葉がありますが、全体像を意識できるかどうか、これが非常に大事です。

細かいテクニックは「習うより慣れろ」です。まずは全体像の把握に努めて頂ければと思います。

大きな流れを整理します。



大事な事は

損益計算書 (P/Lピーエルといいます) と貸借対照表 (B/Sビーエスといいます) の意味と関係を常に意識しておく事です。

損益計算書で計算する [儲けたお金 (利益)] が現金等を増やし、結果として自由に使えるお金 (純資産) が同額増えます。このイメージが大切です。このあたりの知識は 3 級の帳簿の締切における損益勘定の振替で確認しておいて下さい。

また会社では、決算報告書を作り

投資家（いくら儲かっているか、どれくらい財産があるかで投資の判断をしてもらう）

債権者（いくら儲かっているか、どれくらい財産があるかで貸付の判断をもらう）

税務署（いくら儲かっているかで税金を決める）

に提出する必要があります。

という事は誰が見てもわかるようにしておく必要があります。

これがわかれば、内部管理資料である試算表の記入方法と、決算報告書を作成する過程で利用する精算表の記入方法、また外部に提出する必要のある決算報告書の書き方の違いがわかってきます。

「何のためにこの資料はあるのか？」「誰のためにこの資料が必要なのか」これをイメージするだけで、試算表と決算報告書における貸倒引当金や減価償却累計額の表示方法の違いの理解がスムーズになります。

しくりくりしとは？

簿記3級で学んだ（というか覚えた）

仕入／繰商 繰商／仕入

3級はこの理解で十分です。

2級では、この仕訳を利用し、P/L・B/Sにどのように反映させるかの理解をしっかりとらせる必要が色々な局面で出てきます。

自信のない方はこのあたりの復習もしっかりしておいて下さい。

工業簿記と原価計算

言葉負けさえしなければ大丈夫

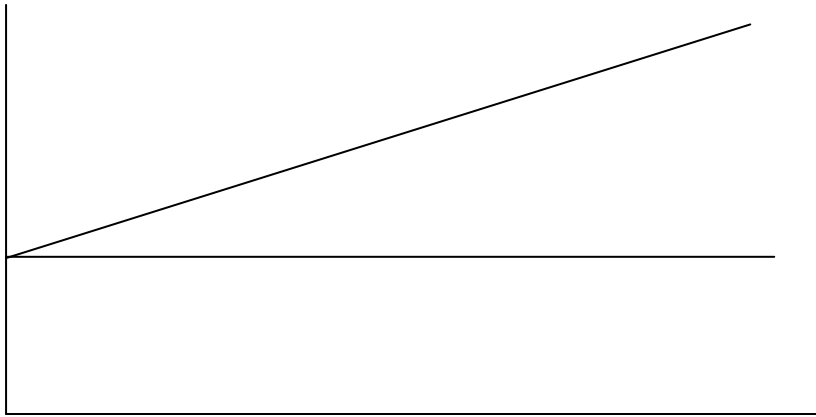
個別原価計算	}	報告目的
総合原価計算		
標準原価計算	}	管理目的
直接原価計算		

仕入（売上原価）

製品

グラフと方程式（これだけわかれば充分です）

$$y = a X + b$$



3食付の寮で、1回1,000円の外食を10回した。

合計はいくら？

$$2 X = 4$$

$$X = (\quad)$$

どのようにして計算しましたか？

直接原価計算とは？

ある理髪店があります。

1回のサービス料が3,000円

1人にかかるシャンプー・リンスは900円

家賃などの固定費は210,000円

(Q) 何人くればトントンですか？

(Q) その時の売上高は？

(Q) 今月は330,000円の売上でした。どれくらい余裕がありますか？(%)で

これができれば、日商簿記2級108回の第5問はできる(はず)